

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

|                  |  |  |                         |
|------------------|--|--|-------------------------|
| 授業科目名<br>科目ナンバー  | 自立に向けた食事支援<br>Ⅲ-6-1-1②   |  | 教員氏名<br>佐藤 美紀           |
| 学年               | 専攻科  |  | 開講学期<br>前期              |
| 授業形態             | 演習   |  | 単位数<br>1単位              |
| 必修・選択            | 専攻科  |  | 実務経験<br>介護福祉士 6年        |
| テーマ              | 食事・口腔ケアの介護技術を習得する  |  |                         |
| ディプロマ<br>ポリシー    | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。<br>2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。<br>3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。                              |  |                         |
| カリキュラム<br>ポリシー   | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目                      |                         |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理   | 多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目            |                         |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目     |                         |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践   | 身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積み重ねて学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目 |                         |
| 授業の概要            | この科目では主に食事介助や口腔ケアについて学びます。多くの技術を体験、グループディスカッションを用いて、当事者理解を目指します。そのことで、利用者本人が尊厳を保持し、主体的に生活を送れるよう、根拠に基づいた基礎的な知識や技術を学んでいきます。また、介護福祉士として高齢者施設に勤務した経験をもとに、事例を用いながらわかりやすく解説します。                                |  |                         |
| 授業の<br>到達目標      | ①自立に向けた食事のアセスメントや意義を説明できる<br>②自立に向けた身支度(口腔ケア)の意義やアセスメントについて説明することができる<br>③障がいに応じた、食事・口腔ケアの介助を使用できる<br>④自立に向けた用具の活用と環境整備について説明することができる<br>⑤脱水や誤嚥の原因や対応・事故や感染症の説明できる<br>⑥ICFの視点に基づいた食事における生活支援について述べる事ができる |  |                         |
| テキスト             | 『生活支援技術Ⅱ』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規   |  |                         |
| 参考書              |  |  |                         |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする   |  | ○                       |
|                  | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する  |  | ○                       |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める  |  |                         |
|                  | ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する  |  |                         |
| その他: コマシラバスの活用   |  | ○  |                         |
| 成績評価方法           | 区分   | 割合(%)  | 内容                      |
|                  | 定期試験・筆記試験  | 60   | まとめテスト60%               |
|                  | 授業内課題・発表等  | 30   | 10分ワーク・小テスト20%、実技試験10%、 |
|                  | 参加度・学習態度等  | 10   | 参加度・授業内態度10%            |
| その他              |  |  |                         |
| 再試験              | 行う   | 行なわない場合の理由   |                         |

授業概要と課題

|     |           |   |     |
|-----|-----------|---|-----|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 食事における生活支援とは食事の意義・食事のメカニズム・食事介助の技術          |     |
|     | 授業外学習     | 〈復習〉美味しく食べる工夫についてワークにまとめる                   | 55分 |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | ベッド上・片麻痺の方の食事の介助                            |     |
|     | 授業外学習     | 予習)教科書にてベッド上の食事介助に目を通す。                     | 55分 |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 嚥下の仕組み・誤嚥・窒息の予防・誤嚥性肺炎の予防について                |     |
|     | 授業外学習     | 〈予習・課題〉誤嚥性肺炎とは何かを調べる 〈課題〉嚥下のメカニズム(小テスト)を覚える | 55分 |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 水分摂取の介助・脱水の予防                               |     |
|     | 授業外学習     | 〈予習・課題〉脱水の兆候について調べる。                        | 55分 |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | 嚥下困難の方への食事介助と用具の活用と環境整備                     |     |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉嚥下のメカニズムを復習する 〈課題〉食事の介助の分野を勉強する(小テスト)   | 55分 |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 食事の姿勢と環境                                    |     |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉誤嚥の5つのメカニズムを覚える(小テスト)                   | 55分 |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 食事のための工夫と道具・用具の活用・介護テクノロジーを活用した技術           |     |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉教科書にて食事のための道具・用具の種類に目を通す・テクノロジーの例を調べる   | 55分 |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 口腔ケアの目的とブラッシングの種類                           |     |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉口腔ケア分野を勉強する(小テスト)                       | 55分 |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | 口腔ケアの実技(座位姿勢における技術・ベッド上での技術)                |     |
|     | 授業外学習     | 〈復習〉口腔の汚れのつきやすい部分を理解し、ブラッシングを実践する           | 55分 |

|      |           |   |     |
|------|-----------|---|-----|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 口腔マッサージの効果と技法・義歯について                                      |     |
|      | 授業外学習     | 〈予習〉教科書にて義歯の管理の方法調べる                                      | 55分 |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 胃ろう・片麻痺・認知症の方への口腔ケアと感染症や事故への対応                            |     |
|      | 授業外学習     | 〈復習〉失行・失認・空間認識に応じた口腔ケアについてワークにまとめる                        | 55分 |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 実技試験(片麻痺の方の口腔ケア)  |     |
|      | 授業外学習     | 〈予習〉片麻痺の方の口腔ケアの留意しながら、実技試験へ向けの練習                          | 55分 |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | まとめ:生活支援とチームアプローチ   |     |
|      | 授業外学習     | 〈課題〉食事の支援において連携の場面を想定する。利用者の自己決定や楽しみ・生きがいになるような支援について考える。 | 55分 |

#### 課題に対するフィードバックの方法

採点した小テストは当該学生に開示し、不明点に対する説明を授業内で行う。7割に満たない学生は再テストや教員と勉強を行う。